

## 原田 翔 さん

最終合格先：労働基準監督官  
国家総合職（大卒・法律）  
国家一般職  
京都府

大 学：立命館大学 在学中合格  
LEC受講コース：2019年合格目標 2年パーフェクトコース  
受講形態 通学受講（神戸本校）



### 私が合格・内定を獲得できた理由

#### 友人や先生などの周りの支えの中で

私が内定をいただけたのは長い間努力を続けていくことができたからだと思います。努力をし続けることが出来たのは友人や先生のおかげです。友人とは授業や自習だけの時間の時でも会うたびにモチベーションが上がる話をしたり、嫌なことがあったら慰め合うことで努力をし続けることが出来ました。また先生方も、分からない所や面接カードの添削などの質問や相談をしに行くといつでも丁寧に対応していただき頑張ろうと思うことができました。このようにLECで良い人間関係を築けたことが内定獲得への大きな部分になりました。

### 私がLECを選んだ理由

#### 苦手な面接練習のために

私は就職活動までに面接試験を受けたことが一切ありませんでした。そのため、面接には苦手意識があったので、面接に力を入れていたLECを選びました。実際にリアル面接シミュレーションにしてみると改善点が多く見つかりました。そして何度もリアル面接シミュレーションに行き先生方から分かりやすく根拠を持ってアドバイスしていただき、どんどん練習を重ねました。そうすることで苦手意識のあった面接が寧ろ得意に感じて試験に臨むことが出来ました。

## 私の勉強方法のポイント

### 分からないところをすぐ解決する

私は学部の関係で公務員試験に関する勉強科目の殆ど全てがこれまで学んだことがない科目でした。そのため最初は理解に苦しむ所が多くありました。そこで私は**分からない所をずっと抱え込まずにすぐに先生方に質問に行き解決する**ように気をつけて勉強しました。先生方にも丁寧に対応していただけたことで理解していくことが出来ました。このように一つ一つの問題にしっかり対応することが成績向上へのポイントだと勉強の期間を通して感じました。

## 私が公務員を目指した理由

### 民間と公務員の行動の違い

私は元々民間も含めた進路を考えていました。しかし、塾講師のアルバイトでの経験を踏まえて、民間と公務員の目的の違いから公務員志望に固めました。民間では自由競争の中で生き残ることを目的に自らの儲けを考えて行動し特定の方々へのサービスを提供する仕事になると考え、一方で公務員は社会的弱者の方も含めた多くの方々への仕事に携わることが出来ると私自身は感じました。このような違いを考えた結果公務員として働きたいと思い目指すことにしました。

## 私の面接試験エピソード

### 最後まで前向きに

私は様々な面接試験を受けて、面接試験は最後まで分からないものだなと感じました。例えば、私の中ですごく手応えを感じた面接試験の結果が普通の評価をいただくことがあったのですが、一方で終わった後に反省点ばかり見つかった試験の結果が良い評価をいただいていることがありなんと分からないなと思いました。そのため私は常に前向きでいる事を心掛けていました。どのような結果になるかは発表まで分からないので前向きな気持ち持つ事で併願先の面接に余裕を持って臨む事が出来ました。